

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 和室
 - ◆ 出席委員：新野・川口・久我・前田・武本・渡辺委員 …6名
 - ◆ 事務局：広報センター／木村
-

意見書内容について

会長より

- ・ 委員より、意見書内容に関する意見が多く出され、運営委員会にて再度、内容の見直しの検討をお願いしたい。

委員

- ・ 地域の会発足後これまで、各委員が自らの時間を割いて活動してきた。また、個人的にもこの地盤の問題には全エネルギーをかけてやってきた立場として、事実を明らかにしてもらう必要がある。
- ・ 推進の立場としても原発の安心を求めるという点では一致。
- ・ 意見書の中の感情を含んでいると思われる言葉は、委員それぞれの思いが違うこともあるのでは、事実のみを記載したほうがよい。その上で、各機関への要望を述べる文体に修正することとしたらどうか。
- 国が公表しなかったことは事実であるので、記載。
- 原子力安全委員会は新聞報道でこの件を知ったという。安全委員会へも意見書を提出。
- 「活断層評価等が適切に行われていたのか」という疑問の声があがっていた」という部分は「疑問の声が一部からあがっていた」に修正。
- 「裏切り行為と断じざるを得ません」を「情報を隠していたと言わざるを得ません」に修正。
- 「背任行為にほかならないと考えます」を「信頼を裏切ることにならないかと考えます」に修正。
- 国及び東京電力への要望の記載部分に、原子力安全委員会を加える。
- 提出先は、原子力委員長、原子力安全委員長、資源エネルギー庁長官を追加する。